

平成14年度科学研究費補助金(基盤研究(B)(2))(課題番号:13410042)

『自閉症児・ADHD児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究』報告書

# 自閉症とADHDの子どもたちへの 教育支援とアセスメント

平成15年(2003年)2月

■自閉症とADHDの子どもたちへの教育的支援 = 社会的な困難さへの支援 / 運動面への支援

■自閉症のスクリーニング質問紙 = ASQ / ASSQ / AQ

■資料 = これからの教育施策の動向

東條吉邦 [編集]

独立行政法人  
国立特殊教育総合研究所

## まえがき

本書『自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント』は、科学研究費補助金の基盤研究(B)(2)「自閉症児・ADHD児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究」の中間報告書である。

この研究は、自閉症（特に高機能自閉症とアスペルガー症候群）の子どもたちとADHDの子どもたちにみられる社会的な困難性の特質について多面的に検討し、アセスメントの方法を確立するとともに、実際の学校現場での教育的支援と家庭での教育的支援に関する知見を得ることを目的としている。具体的には、自閉症児の社会的困難性の特質とADHD児の社会的困難性の特質の差異と共通点を分析するとともに、その差異を明らかにするためのアセスメントのツールについて検討し、それぞれの障害に対して適切な支援の方法や、社会的困難性への対処を主眼とした支援マニュアルの開発を目指している。

今年度は、この研究の実施期間(3年計画)の中間年にあたるが、先頃(平成14年10月)、文部科学省の「特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議」による『今後の特別支援教育の在り方について(中間まとめ)』において、初めてADHDと高機能自閉症の定義と判断基準の試案が示され、教育的支援に関する施策の提言がなされたので、自閉症とADHDのスクリーニングやアセスメントのツールに関する事柄を中心に、これまでに本研究で得られた成果、及び関連する情報を集めて中間報告書を作成することにした。

平成15年度は、本書に掲載したスクリーニングやアセスメントのツール、及び教育的支援に関するいくつかの提案を実際に活用することによって、さらに研究を深め、研究成果の最終報告書を刊行する予定にしている。

本書の刊行にあたっては、多くの方々のご協力をいただいた。心より感謝する次第である。自閉症・ADHDの子どもたちへの教育の充実のため、本書を有効に活用していただければ幸いである。

平成15年2月

独立行政法人

国立特殊教育総合研究所分室長

東 條 吉 邦

『自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント』

目次

まえがき .....	東條 吉邦	
ADHD児・高機能自閉症児における社会的困難性の特徴と教育 .....	落合みどり .....	1
	東條 吉邦	
自閉症児・ADHD児等の運動支援に関する研究の動向 International Symposium for Adapted Physical Activity に参加して .....	是枝喜代治 .....	23
自閉症スクリーニング質問紙(ASQ)日本語版の作成 .....	大六 一志 .....	33
	千住 淳	
	林 恵津子	
	東條 吉邦	
	市川 宏伸	
高機能自閉症スペクトラム・スクリーニング質問紙(ASSQ)について .....	井伊 智子 .....	39
	林 恵津子	
	廣瀬由美子	
	東條 吉邦	
ASQ、ASSQ-R、AQについて .....	東條 吉邦 .....	45
自閉症スペクトラム指数(AQ)日本語版について .....	若林 明雄 .....	47
自閉症及びアスペルガー症候群の児童生徒への特別支援教育 .....	東條 吉邦 .....	57
[資料] 自閉症・ADHDの児童生徒への教育施策の動向 「今後の特別支援教育の在り方について(中間まとめ)」より .....	東條 吉邦 .....	71
あとがき .....	東條 吉邦 .....	87